

製品名: ミトフシン 2 (8H7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13921**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	86kDa

抗原情報

遺伝子名	MFN2
別名	CMT2A2; CMT2A; CPRP1; MFN2; Hyperplasia suppressor; MARF; Mitofusin 2; HSG; Mitofusin-2;
遺伝子 ID	9927.0
SwissProt ID	O95140
免疫原	ヒトミトフシン 2 の合成ペプチド

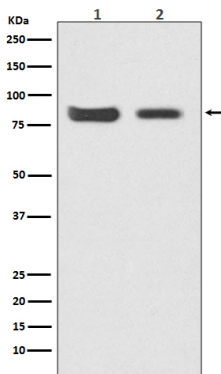
背景

血管平滑筋細胞の増殖制御において重要な役割を果たします。選択的オートファジー（マイトファジー）を介して損傷ミトコンドリアの除去に関与します。機能不全のミトコンドリアへの PARK2 のリクルートメントに必須です。ミトコンドリア外膜 GTPase は、ミトコンドリアのクラスター形成と融合を媒介します (PubMed:11181170、PubMed:11950885、PubMed:26214738、PubMed:28114303)。ミトコンドリアは非常に動的な細胞小器官であり、その形態はミトコンドリアの融合と分裂の平衡によって決定されます (PubMed:28114303)。過剰発現はミトコンドリアネットワークの形成を誘導します (PubMed:28114303)。膜のクラスター形成には GTPase 活性が必要であり、コイルドコイルドメインの主要な再編成を伴う可能性がある (可能性が高い)。ミトコンドリア代謝において中心的な役割を果たし、肥満やアポトーシス過程に関連する可能性がある (類似性による)。血管平滑筋細胞の増殖の調節において重要な役割を果たす (類似性による)。選択的オートファジー（マイトファジー）を介した損傷したミトコンドリアの除去に関与する (PubMed:23620051)。機能不全のミトコンドリアへの PRKN のリクルートメントに必要である (PubMed:23620051)。ER ストレス時のアポトーシスとオートファジーの活性化を含む、ER ストレスに対する折り畳まれていないタンパク質の応答 (UPR) の制御に関与する (類似性による)。EIF2AK3 の上流調節因子として機能し、基底条件下では EIF2AK3 の活性化を抑制する (類似性による)。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) マウス腎臓溶解物におけるミトフシン 2 発現のウエスタンブロット分析。